

3 学期始業式 式辞 H31. 1. 8

皆さん明けましておめでとうございます。

平成最後の年を迎えました。皆さんの年末年始はいかがでしたでしょうか。勉強や部活動があつて、冬休みという実感は持てなかった人も多いのではないかと思います。

さて、今日から3学期です。学期の開始に当たり、三つのこととお話したいと思います。

一つ目は、「一年の計は元旦にあり」ということです。これまで何度も耳にし、ありきたりの言葉のように思われるかもしれませんが、されど、「一年の計は元旦にあり」です。年が改まるということは大きな節目ですので、これまでの自分をより成長・発展させるために、目標を立て、それを実現するための計画を立てていただきたいと思います。

二つ目は、「人事を尽くして天命を待つ」ということです。自分にできる限りのことは頑張ってみて、後の結果は天に委ねるということです。特に3年生の皆さん、最後の受験の前日まで勉強に勤しみ、人事を尽くし、試

験当日はもう全てを天に委ねて、心を落ち着かせ、ゆったりとした気持ちで試験に臨んでいただきたいと思います。「人事を尽くして天命を待つ」です。

三つ目は、「今、深い悲しみや辛いこと苦しいことに遭遇している皆さん」へのメッセージです。悲しみや苦しみは容易に心から消えてなくならないかもしれませんが。それでも、悲しみや苦しみを受け止め、じっと耐え、エネルギーが湧いてくるのを待ちましょう。皆さんの暮らしの中にある、当たり前のことの中に、小さな喜びや幸せを見つけ、少しでも感謝の想いを積み重ねていきましょう。あなたの周りにはあなたを心配してくれている人が必ずいます。そして何よりも「時間」があなたを救ってくれます。「時の力」を信じて、心から笑える日を待ちましょう。

以上、3学期始業式の式辞とします。